



テュートリアル課題 ハーフマラソンに参加します

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2016
号	S4
発行年	2016-09-21
URL	http://hdl.handle.net/10470/00032684

2016年度 Segment. 4

課 題 No.3

課題名：ハーフマラソンに参加します

課題作成者：循環器内科学
薬理学

上野敦子
丸 義朗



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

シート1

大学生のT美さんは、友人に誘われ、市が主催するハーフマラソンの大会に参加することにしました。大会要項には、“事前に健康診断を受けることが望ましい”と書いてあります。小学生の頃からスイミングスクールに通っていたので体力には自信がありますが、脈が少ないといわれたことがあります。マラソンのときに脈が少ないということが問題なのかと心配になり、近くの診療所を受診しました。

シート2

T美さんは、担当の先生に、マラソン大会にでるため健康診断を受けたいと話しました。簡単な問診の後、ひと通り診察を受けました。診察のあと、担当の先生が身体所見だけ記載された未完成の健康診断書を見せながら、「念のため心電図をとりましょう」と言われました。

シート3

心電図でも、やはり心拍数が少ないそうですが、それ以外の身体所見には異常はないとのこと。先生に、これまで運動したときに胸の症状やめまいなど感じたことはあったか、と尋ねられました。運動しているときに脈がゆっくりだと、どんなふうに具合が悪くなるのでしょうか。マラソン大会で心肺停止になった人の話を聞いたことがあります、関係あるのでしょうか。T美さんは、運動では特に思いあたることはありませんが、息をこらえたあとに眼の前が暗くなったことがあることを思い出しました。脈がどのように変化するか、ホルター心電図を付けて帰りました。

シート4

T美さんは、1週間後にホルター心電図の結果を聞きに行きました。先生は結果をみて「このような脈の変化なら、マラソン大会に出ても大丈夫でしょう。」と言われました。「もし脈が増えなかったら、薬を飲まなければならないのですか？」と質問したところ、「生命や生活に支障があるような場合は、原因を検査したうえで薬を含めて治療を考えます」とおっしゃいました。健康診断書を受け取り、T美さんはマラソン大会の申込みをしました。